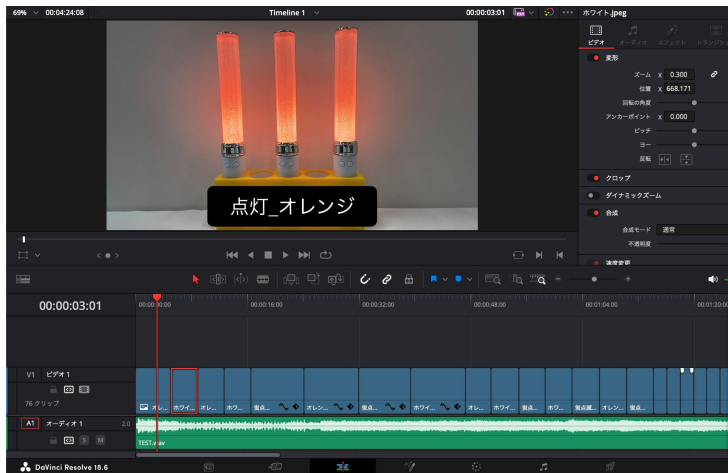


# DavinciResolveを使用した 演出指示動画作成方法

2024.2.20版

# はじめに

音響連動音源を生成するために、DavinciResolveというフリーの動画作成ソフトを使用して下記のような演出指示タイムラインを作成して頂きます。画像のように楽曲のタイミングに合わせて映像で色指定を行い、納品して頂くことで、弊社の方で演出通りの音響透かしを埋め込んだ楽曲を作成する事が可能となります。

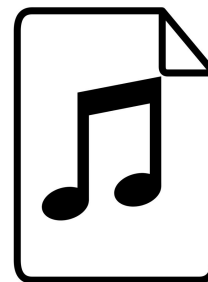


御社作業

音源データに対応するよう演出を並べ  
fcpxmlファイル及び動画を書き出して納品



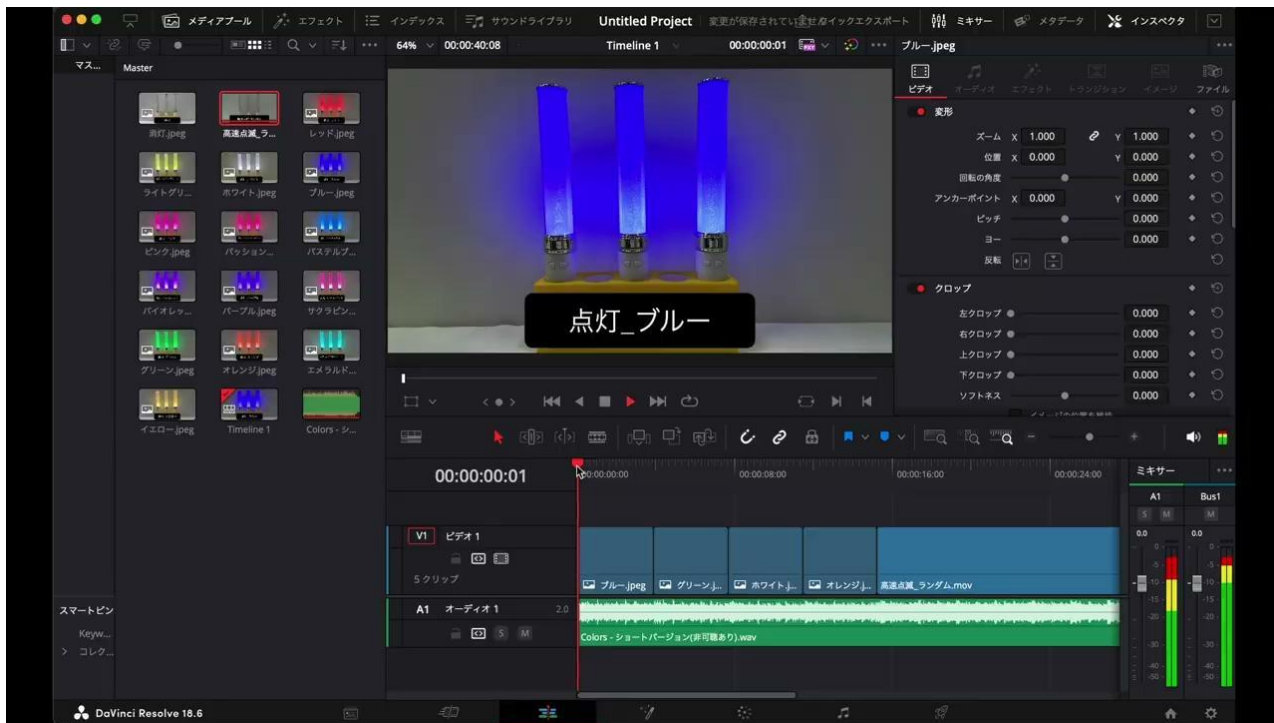
頂いたファイル通りに音響透かしを  
埋め込んだ音源を作成しご納品



弊社作業

# 作成済み指示動画サンプル

最終的にこのような形になるように進めていきます。



# 1.DavinciResolveのダウンロード(無償)

下記公式サイトよりDavinciResolveをダウンロードして下さい。

<https://www.blackmagicdesign.com/jp/products/davinciresolve>

概要 新機能 Edit Cut Color Fusion Fairlight コラレーション キーボード パネル コンソール Studio トレーニング 仕様 ログイン

# DaVinci Resolve 18

プロフェッショナルな編集、カラー、エフェクト、オーディオポストプロダクション！

DaVinci Resolveは、編集、カラーコレクション、VFX、モーショングラフィックス、オーディオポストプロダクションを一つのソフトウェアに融合した、世界唯一のソリューションです！エレガントで近代的なインターフェースは、初心者簡単に覚えやすく、プロユーザー向けのパワフルさも兼えています。DaVinci Resolveを使用することで、複数のアプリケーションを習得したり、タスクごとにソフトウェアを替えたりする必要がないので、スピーディかつ高品質な作業が可能。これは、制作の全過程を通してカメラのオリジナル品質で作業できることを意味します。つまり、ひとつのリネーションで自分専用のポストプロダクションスタジオに入ります。そして何より、DaVinci Resolveを学ぶことハリウッドのプロたちと全く同じツールを習得できます

DAVINCI RESOLVE  
今すぐダウンロード

DAVINCI RESOLVE STUDIO  
オンラインで購入 ¥47,980 (税込価格)

## DaVinci Resolve 18.6

ダウンロード

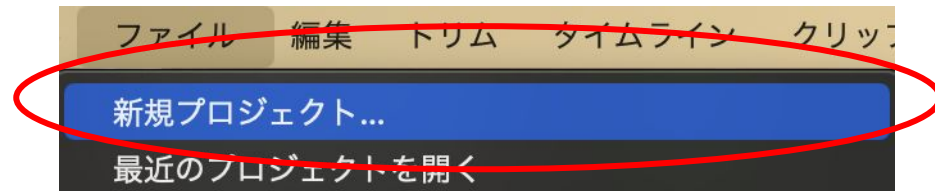
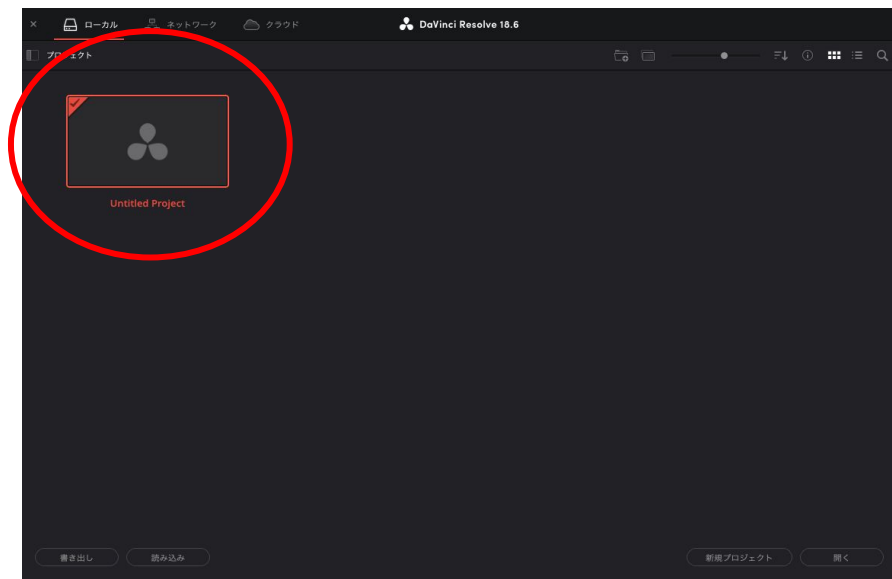
### DaVinci Resolve 18.6

ハリウッドで最も人気の高い、編集、VFX、モーショングラフィックス、カラーコレクション、オーディオポストプロダクションをひとつのソフトウェアで扱えるソリューション！Mac、Windows、Linuxに対応。

Mac OS X Windows Linux

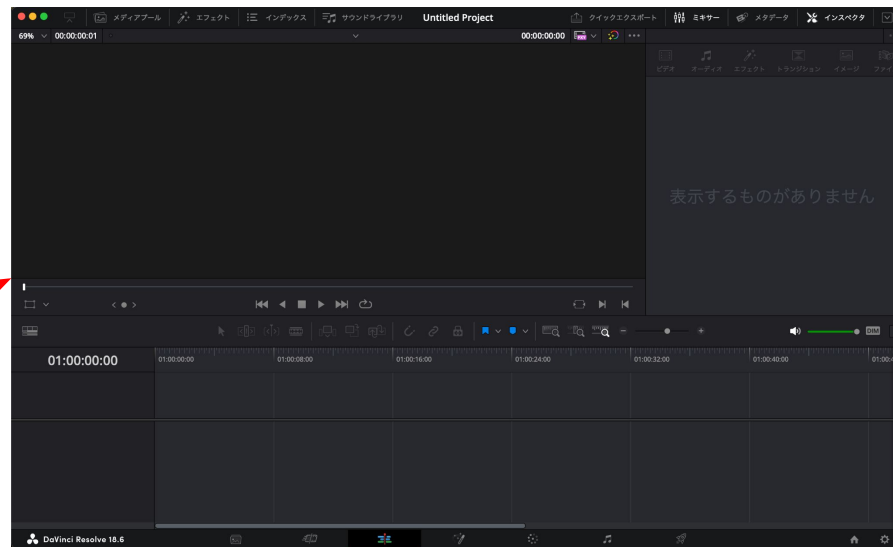
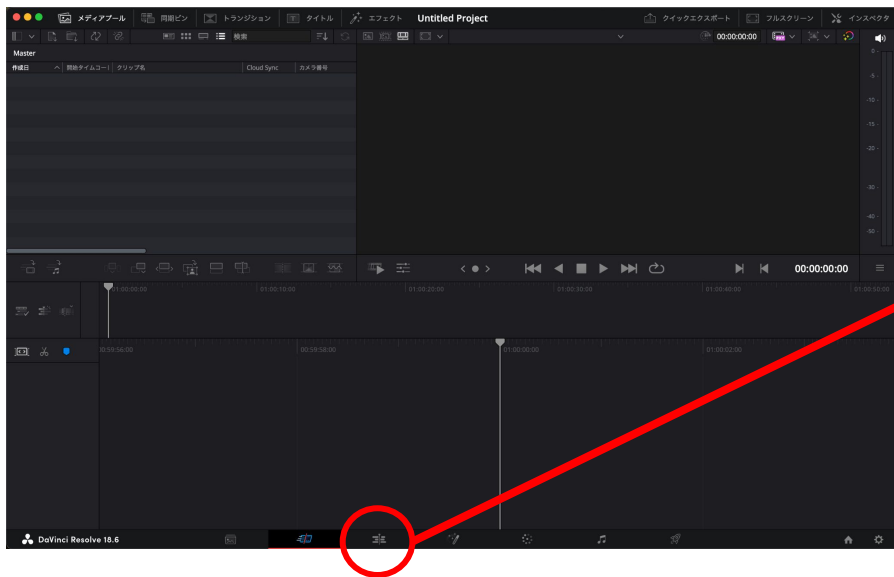
## 2.DL完了から立ち上げ

DLが完了し、Davinciを立ち上げると下記の画面が出るので、「メニューバー→ファイル→新規プロジェクトを作成」もしくは「下記画面でUntitled Projectをダブルクリック」で新規プロジェクトを作成して下さい。



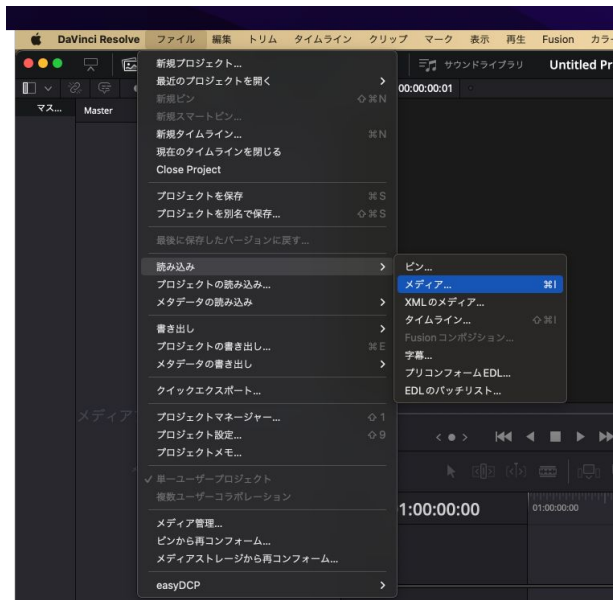
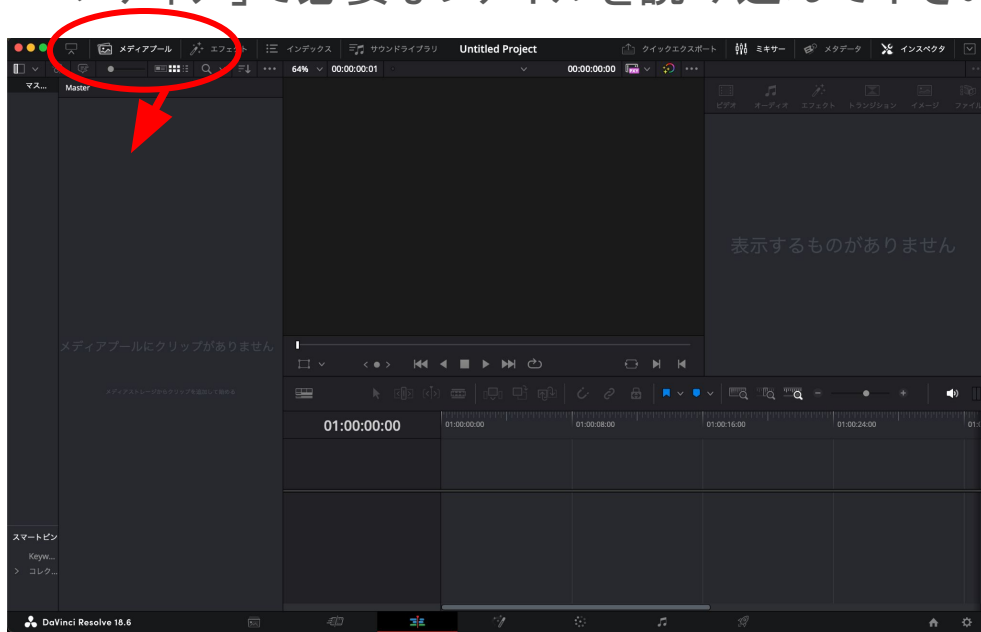
### 3.タイムライン表示変更

新規プロジェクトを作成すると下記のような画面になりますので、下部のビューからタイムライン表示を変更してください。



## 4.メディアファイルの読み込み

左上のメディアプールをクリックするとメディアプール画面が表示されるようになりますので、「メディアプールウィンドウにドラッグドロップ」か「メニューバー→ファイル→読み込み→メディア」で必要なファイルを読み込んで下さい。

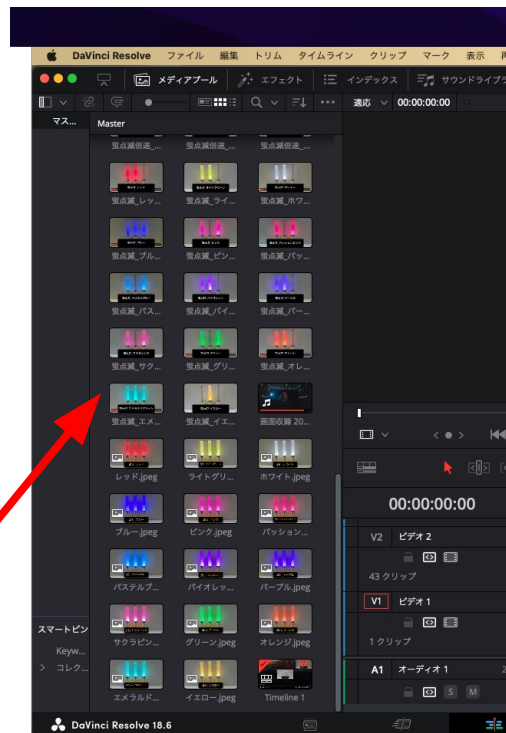


## 5.メディアファイルの読み込み2

ここで読み込むファイルは「本番で使用する音源データ」と「演出指示に使用する各種色点灯指示ファイル(弊社より配布)」です。

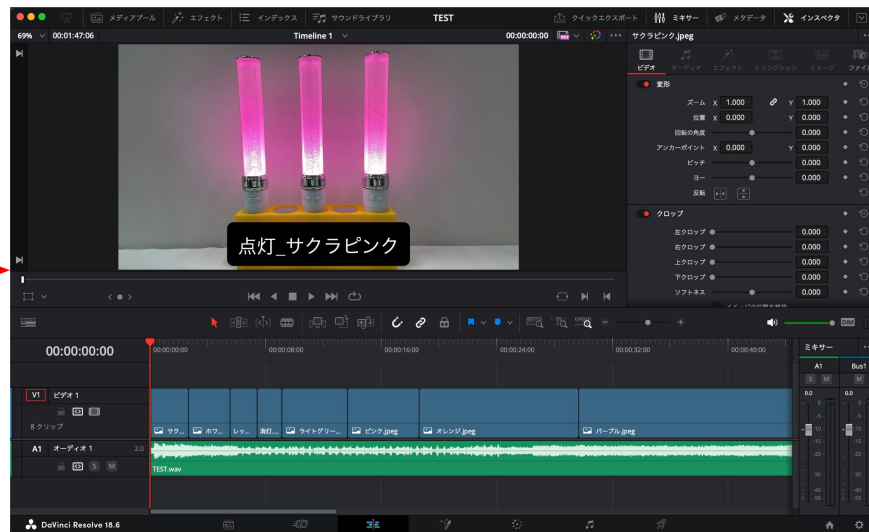
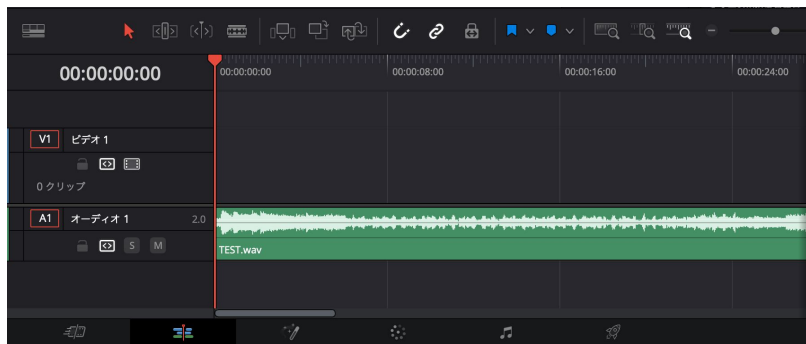
Name	Date Modified	Size	Kind
消灯.jpeg	2023/04/04 10:40	1.5 MB	JPEG
オレンジ.jpeg	2023/04/04 10:40	1.5 MB	JPEG
イエロー.jpeg	2023/04/04 10:40	1.5 MB	JPEG
ライトグリーン.jpeg	2023/04/04 10:40	1.4 MB	JPEG
グリーン.jpeg	2023/04/04 10:40	1.5 MB	JPEG
エメラルドグリーン.jpeg	2023/04/04 10:40	1.5 MB	JPEG
パステルブルー.jpeg	2023/04/04 10:40	1.6 MB	JPEG
ブルー.jpeg	2023/04/04 10:40	1.5 MB	JPEG
パープル.jpeg	2023/04/04 10:40	1.6 MB	JPEG
パイオレット.jpeg	2023/04/04 10:40	1.6 MB	JPEG
パッションピンク.jpeg	2023/04/04 10:40	1.5 MB	JPEG
ピンク.jpeg	2023/04/04 10:40	1.5 MB	JPEG
サクラピンク.jpeg	2023/04/04 10:40	1.4 MB	JPEG
ホワイト.jpeg	2023/04/04 10:40	1.4 MB	JPEG
レッド.jpeg	2023/04/04 10:40	1.5 MB	JPEG

New Folder Cancel 開く



## 6.演出指示動画の作成

まず音源ファイルを配置し、タイムライン上の00:00:00:00から始まるように頭を合わせます。その後、タイムライン上のビデオ1のトラックに該当する指示ファイルを並べていきます。素材の配置はメディアプールからドラッグ&ドロップで行えます。その他細かい操作方法は解説サイトなどをご覧くださいと幸いです。



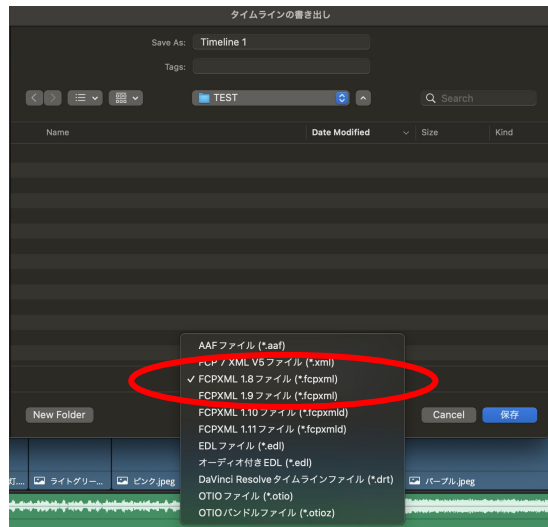
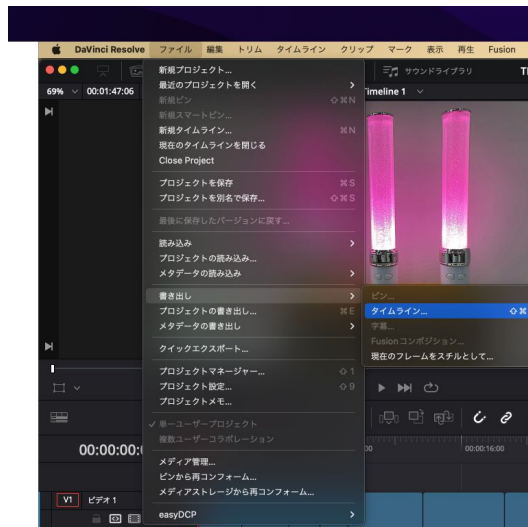
## 7.演出指示動画の作成のポイント

演出指示を作る際のポイントを下記に記載します。

- 演出の切り替えタイミングは小節の頭に合わせるようにすると曲との一体感が増します。
- 埋め込みの時間が短すぎるとペンライトが反応しづらくなりますので、1演出につき1秒程度は確保すると安定して動作します。
- 音数が少ないところには音響透かしを埋め込みづらいため、静かな箇所や音数が少ない箇所では演出切り替えは少ない方が安定して動作します。
- 演出がついていない箇所は何が正解か分からなくなってしまうので、演出指示のクリップとクリップの間に空白がないようにキッチリ詰めてご作成ください。
- **演出指示用のファイルは全てV1のトラック上に並べて下さい。**

## 8.ファイルの書き出し

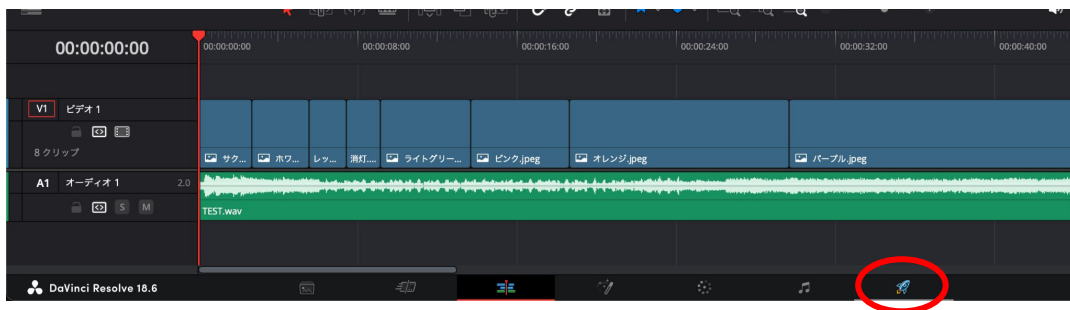
楽曲に全ての演出を付け終えたら、「fcpxmlファイル」及び「動画」を書き出します。はじめにfcpxmlファイルの書き出しです。「メニューバー→書き出し→タイムライン」を選択し、「ファイル形式でFCPXML 1.8ファイル」を選択し、保存して下さい。ファイル名は楽曲名と同じだと分かりやすいです。



## 9.ファイルの書き出し2

次に、演出確認用の動画を出力します。画面下部のアイコンで「デリバリー」をクリックし、書き出し設定画面に切り替えます。(下画像参照)

書き出し設定画面では、左上で設定を「H.264」に、名称は曲名と同じにし、出力先は任意に設定、ビデオ書き出しのフォーマットを「MP4」に設定、解像度は必要ないので低めに設定して下さい。その後、「レンダーキューに追加」をクリックし、右側のレンダーキューに追加し、最後に「すべてレンダー」を選択すれば動画の出力が開始されます。(画像は次ページ参照)



# 10.ファイルの書き出し2\_参照画像



# 最後に.ファイルのご入稿

最後に、ここまでの作業で作成した以下のファイルを弊社にご入稿いただき、終了です。

- 加工用音源(音質的な観点からwavが望ましいです)
- DavinciResolveのプロジェクトファイル(drpファイル)
- 8の工程で書き出したfcpxmlファイル
- 9,10の工程で書き出した確認用mp4ファイル

ご不明点等ございましたらいつでもお気軽にお尋ね下さい。